（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス　ハミングバード			
○保護者評価実施期間	2024年4月1日	～	2025年3月30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	１３名	（回答者数）	６名
○従業者評価実施期間	2024年4月1日	～	2025年3月30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	６名	（回答者数）	６名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の年齢層が幅広く、様々な年齢の関わりがもてる場となっています。	様々な年齢層のお子様が興味をもって活動に参加できるようにいろいろなプログラムを職員間で話し合い提供できるようにしています。また、日々のイベントの中で小学校のお子様と関われる場を設け協力しあったり、困ったときにはお子様同士で相談できるやり取りができるようにしています。	お子様一人ひとりの発達特性に応じて、積極的に活動に参加し楽しく通っていただけるようなプログラムを考案していきます。年齢に応じて、リーダー的な役割を取り入れ自信が持てるように支援していきます。
2	専門職による支援に力を入れています。	理学療法士の専門的な視点から、お子様・保護者様の困りごとに対し助言を行ったり、個々の苦手な部分を克服したり、体を動かしてリフレッシュできる時間を設けられるように状況に合わせて個別での対応を行っています。	理学療法士の取り組み内容を、事業所全体で共有していき連携強化しながら協力して行っていけるようにしていきます。
3	月に一度、保護者様のご都合に合わせて家族支援面談を実施しています。また、状況に応じて園や他事業所との連携も積極的に行っています。	現在施設長を中心に毎月保護者様と予定を調整し家族支援面談を行っています。ご相談をされた内容に関しましては、職員で共有して共通認識を強化し、事業所全体で受け止めより良い支援に繋がるよう努めております。	家族支援面談を行う職員を増やし、より保護者様がご相談しやすい環境を整えて参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のお子様との交流機会が不足していることや保護者同士の交流の機会が少ないことが挙げられます。	当事業所で行うイベントや活動を優先しているため、現在「保育所や幼稚園等との交流や、地域のお子様と活動する機会」を活動として提供できていません。また、保護者様が参加できるイベントも昨年は実施できていません。	今後は意欲的に地域や活動情報に目を配り、参加できそうな催しがあれば状況に応じて参加を検討していきます。また、保護者様の要望など伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討して参ります。
2	設備・環境面の改善が必要なところがあります。	職員が管理しているおもちゃ置き場にも最近はお子様が入ってしまうことがあり、再度おもちゃの管理や、支援室・学習室の使い方に関して職員で話し合い改善していく必要があります。	聴覚・視覚からの刺激が入りやすいお子様にはその特性に応じた合理的配慮（部屋の使い分け、パーテーションを利用した空間の確保と制限等）を考えて支援を行っていきます。
3	日々のお子様の様子を職員間で共有することはできていますが、送迎終わりに話し合いをしたり、支援の振り返りが行えていないことがあります。	毎日の朝礼時や都度必要に応じて、職員全体で支援会議を行えるようにしていきます。支援の質の向上に向けて、様々な意見を出し合える環境を整えて参ります。	引き続き、連携を取りながら情報共有を行い、チームでの支援に取り組んで参ります。また、具体的な支援方法について職員間で意見交換を行い、実践力を高めていきます。